



令和4年2月発行(昭和51年12月1日発刊)

特集 テーマ

子どもの権利条約を知ろう

権利ってなんだろ?

「権利」は、英語で「Right」

大人も子どもも、みんなが持っている「あたりまえ」に認められているもの、「正しい」ことです。

だれもが持っている人権

すべての人は、生まれた時から「かけがえのない価値を持ったひとりの人間」として大切にされます。これが、「人権」といわれるものです。

自分らしくしあわせに生きる権利

「自分のやりたいことを自由に決めることができる」「自分がいやだと思うことをさせない」ということです。

そのことが、ほかの人から奪われたり、傷つけられたりすることを防ぐために法律や条約という約束事で守られています。

子どもの権利条約を知ろう!

考えてみよう!

次の場合は、誰の、どんな権利が、守られている、または守られていないでしょうか?

A君のお母さんは、病院で働いています。友だちから「ウイルスに感染しているんじゃないの」と、からかわれました。A君は、どうしていいかわからずにいます。

Cさんは将来声優になりたいと思っていますが、両親に強く反対されるのではないかと進路や夢のことを話せていません。

D君とE君は同じグループになりました。けれどもD君は「僕はE君のことが気に入らないから、一緒に活動しない」と言っています。

権利が守られていないとき、あなたはどのようにしますか?

- まわりの人に相談する
先生やまわりの人に頼ったり、相談室に電話したりしよう!
- 声をあげる
本当にやめてほしいときは、「やめて!」と勇気を出して言おう!
- 悩んでいる人、苦しんでいる人に寄りそう
見て見ぬふりをしない。一緒にいてあげて、話を聞いてあげよう!

子どもの権利条約とは?

子どもの権利条約は、地球上のすべての子どもたちが、一人の人間として大切に扱われながら、自分らしく生き、大人にむけて成長していくために、世界の国々が話しあい、つくられた約束事=条約です。

子どもは、みんな平等

子どもは、自分や家族の人種、皮膚の色、性別、宗教、考え方や地位などで差別されることはありません。すべての子どもはみんな平等に、この条約に定められた権利を持っています。

あなたと、友だちみんなにとって大切なことが書いてあります。

子どもとは、18歳になっていない人を子どもとします。

子どもの権利条約を見渡してみると、災害や戦争に巻き込まれたり、家族や住家をなくしたり、学校に通えなかったり、さまざまな差別を受けたり、楽しい暮らしに苦しんでいたり、いじめられたり、幸せに生きることが大変な子どもたちがたくさんいます。

子どもの権利条約は、そんな子どもたちをはじめ、世界中の子どもたちの強い味方です!

子どもの権利条約

●どんな約束が書かれているの?●

子どもの権利条約は、子どもが自分らしく、のびのびと成長していくために大切にしてほしいものを表すと、大きく4つあります。

生きる権利

命が守られること
食べたり、眠ったり、病気がけがをしたら治療を受けられること
など



守られる権利

いじめや暴力で、心も体も傷つけないように守られること
誰かに嫌な思いをさせられたりしないこと
など



育つ権利

遊んだり、勉強したり、休んだりできることなど
成長できること
など



参加する権利

自由に意見を言ったり、聞いてもらえること
団体をつくること
など



資料提供: 公益財団法人日本ユニセフ協会 <https://www.unicef.or.jp>

つらいときは、SOSを出していいんだよ

どなられたり、たたかれたりしている

いじめられている仲間はずれにされている

今の自分の状況をなんとかしたい

気軽に電話してね!

心配なことや、困ったことがあったら、一人でやまなで、信頼できる大人に相談してみよう。あなたの力になりたいと思っている人はたくさんいます。

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用の電話」
チャイルドライン
フリーダイヤル **0120-99-7777**

長野県子ども支援センター 子ども専用ダイヤル(無料) **0800-800-8035**

友だちのこと、家族のこと、どんなことでもなやんだときは、話を聞かせてください。秘密は必ず守ります。月曜日～土曜日 午前10時～午後6時(日曜日・祝日・年末年始は休み) メールで相談する……アドレス kodomo-shien@pref.nagano.lg.jp

各校のボランティア・地域活動の紹介

飯田市立 竜東中学校

地域で取り組むSDGs

地域の良さを発信していくために



今年も素晴らしい花壇になりました!



SDGs出前講座



「ふるさと竜東の集い」分科会



箱の移植

全校生徒が地域で取り組めるSDGsについて、地域の方や6年生、保護者の方と共に考えました。SDGsは自分とは遠い関係と思いがちでしたが、身の回りのことに少し取り組むだけで世界を救うことにもつながることが分かりました。

三遠南信道やりニアの開設が進むこの地域で、豊かな自然や人と人のつながりを大切にしながら、皆で意見を出し合い、地域の良さを発信していきたいと思えます。

私たちの学校では、こんな活動をしています。

各校のボランティア・地域活動の紹介

安曇野市立 豊科南中学校

地域の一員として

地域のことを知り、自分ができることを考える



防災倉庫の備品確認



方が一に備えて確認と体験をしておく



避難用寝袋体験

豊科南中学校では、地域に住む住民として中学生ができることを考えて活動しています。地区生徒会では、自分たちの地区の防災対策を学習したり、奉仕活動を行ったりしています。

「地域防災学習・地域活動の日」には、地区の避難場所の確認をしたり、地域の防災担当の方に防災倉庫を開けていただき、水や非常食、救急セット、ストーブ、発電機などたくさんの物が備蓄されていることを

確認したりしました。さらに、発電機の始動をしたり、避難用の寝袋に入ったりする体験もして、方が一の時に「備える」ことの大切さを考えるとともに地区に備えがあることを知って安心することができました。

また、地域への感謝の気持ちを込めて、公民館などでの清掃活動を行いました。

活動を通して、私たちは普段何気なく地域で暮らしていますが、地域の方々は私たちが安全に安心して生活できるように活動してくださっていることを知り、今度は私たちが地域の一員としてできることをやしていきたいと考えてことができました。

